

別記

持越半議園歌

- 一、あゝ、無き友にいざ若人、 狂愚無比の資本家は
働く者の命をば 大根の如くぶった切る
- いざ起ちあがり園結の 威力を示し用はん
- 二人は天城の山奥に 身も女も捨て、つくせいに
むくいられたる解雇状 いかでこのまゝ受とらん
- いざ起ちあがり園結の 身も女も捨て、つくせいに
- 三、奈落の底にきたへたる、 日頃の腕をためすとき、
一家しごと我線に 十字砲火まじへらん

四、あゝ、狩野川の流水には 積念のうらみ血はながり
幾れし友にちのむせを 最後勝利祈らん

あゝ、無き友にいざ若人、狂愚無比の資本家は働く者の命をば大根の如くぶった切る
いざ起ちあがり園結の威力を示し用はん
二人は天城の山奥に身も女も捨て、つくせいにむくいられたる解雇状
いかでこのまゝ受とらん
いざ起ちあがり園結の身も女も捨て、つくせいに
三、奈落の底にきたへたる、日頃の腕をためすとき、一家しごと我線に十字砲火まじへらん